

令和7年2月16日（日）施行

第217回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解答

第1問

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	前受手数料	20,000	受取手数料	20,000
2	当座預金	5,000,000	資本金	2,500,000
	株式交付費	100,000	資本準備金	2,500,000
3	当座預金	400,000	現金	100,000
	当座借越	100,000	売掛金	500,000
4	当座預金	300,000	電子記録債権	300,000
5	リース負債	250,000	普通預金	250,000
	減価償却費	250,000	リース資産減価償却累計額	250,000
6	仮受消費税	800,000	仮払消費税	500,000
			未払消費税	300,000
7	損益	653,000	繰越利益剰余金	653,000

第2問

期首資本金	期末現金	未払配当金	当期純利益
¥ 600,000	¥ 498,000	¥ 100,000	¥ 567,000

第3問

商 品 有 高 帳

J 商 品

令 和 7 年	摘 要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	
1	1	前月繰越	240	2,480	595,200				240	2,480	595,200
	5	千 葉	400	2,640	1,056,000				640	2,580	1,651,200
	6	千 葉				40	2,640	105,600	600	2,576	1,545,600
	10	和 歌 山				500	2,576	1,288,000	100	2,576	257,600
	12	埼 玉	300	2,240	672,000				400	2,324	929,600
	19	奈 良				200	2,324	464,800	200	2,324	464,800
	23	奈 良	30	2,324	69,720				230	2,324	534,520
	31	次月繰越				230	2,324	534,520			
			970		2,392,920	970		2,392,920			

注 摘要欄には、取引先（ただし、「〇〇株式会社」の株式会社は省略し、「〇〇」でよい）を記入すること。

純 売 上 高	売 上 原 価	売上総利益（粗利益）
¥ 2,964,000	¥ 1,683,080	¥ 1,280,920

第4問

1	ウ	2	エ	3	ア
---	---	---	---	---	---

第5問

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	414,000			16,000			398,000	
当 座 預 金	560,000						560,000	
電 子 記 録 債 権	430,000						430,000	
売 掛 金	570,000			50,000			520,000	
貸 倒 引 当 金		6,000		13,000				19,000
売 買 目 的 有 価 証 券	580,000			20,000			560,000	
繰 越 商 品	680,000		720,000	680,000			720,000	
仮 払 法 人 税 等	70,000			70,000				
備 品	1,400,000						1,400,000	
備 品 減 価 償 却 累 計 額		600,000		200,000				800,000
買 掛 金		470,000						470,000
仮 受 金		50,000	50,000					
借 入 金		500,000						500,000
資 本 金		1,500,000						1,500,000
資 本 準 備 金		250,000						250,000
利 益 準 備 金		100,000						100,000
繰 越 利 益 剰 余 金		200,000						200,000
売 上		7,344,000				7,344,000		
受 取 手 数 料		285,000		28,000		313,000		
仕 入	3,820,000		680,000	720,000	3,780,000			
給 料	1,350,000				1,350,000			
支 払 家 賃	495,000		45,000		540,000			
保 険 料	284,000			40,000	244,000			
水 道 光 熱 費	396,000		12,000		408,000			
消 耗 品 費	256,000			27,000	229,000			
	11,305,000	11,305,000						
雑 (損)			4,000		4,000			
貸 倒 引 当 金 繰 入			13,000		13,000			
減 価 償 却 費			200,000		200,000			
有 価 証 券 運 用 損 益			20,000		20,000			
(消 耗 品)			27,000				27,000	
(未 収) 手 数 料			28,000				28,000	
(未 払) 家 賃				45,000				45,000
(前 払) 保 険 料			40,000				40,000	
法 人 税 等			180,000		180,000			
(未 払) 法 人 税 等				110,000				110,000
当 期 純 (利 益)					689,000			689,000
			2,019,000	2,019,000	7,657,000	7,657,000	4,683,000	4,683,000

令和7年2月16日(日)施行

第217回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 前期末に繰り延べていた手数料の前受分の仕訳

(借) 受取手数料	20,000	(貸) 前受手数料	20,000
-----------	--------	-----------	--------

再振替仕訳とは、前期末に行った仕訳の逆仕訳を行って適正な損益計算を行うこと

(借) 前受手数料	20,000	(貸) 受取手数料	20,000
-----------	--------	-----------	--------

2. 増資にあたって、株式を発行した場合には、資本金勘定を用いて処理をする。ただし、問題文中に、資本金の計上額は会社法で認められる最低限度額とする。とあるため、払込金額のうち2分の1は、資本準備金勘定を用いて処理をする。

なお、増資にあたって株式の発行に要した諸費用は、株式交付費勘定を用いて処理をする。

 資本金の金額 $1,000 \text{ 株} \times \text{¥}5,000 \times 1 / 2 = \text{¥}2,500,000$

 資本準備金の金額 $1,000 \text{ 株} \times \text{¥}5,000 \times 1 / 2 = \text{¥}2,500,000$

3. 売掛金を回収したため、売掛金勘定の減少の処理をする。

売掛金について、当座預金口座に振り込まれたが、当座借越の金額が¥100,000あるため、当座借越勘定を先に減少させ、残額を当座預金勘定で処理をする。(当座預金について、二勘定制で処理されているため)

4. 電子記録債権について、支払期日が到来して当座預金口座に入金された場合には、電子記録債権勘定を減少させるとともに、当座預金口座に入金されているため当座預金勘定を増加させる処理をする。

5. リース取引には、取引条件によって、ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に分類される。

ファイナンス・リース取引として利子込み法での処理方法

- ①リース契約締結時

(借) リース資産	1,250,000	(貸) リース負債	1,250,000
-----------	-----------	-----------	-----------

金額 年間リース料¥250,000×5年=¥1,250,000

- ②リース料支払日(1年経過後):普通預金口座から引き落とされた。

(借) リース負債	250,000	(貸) 普通預金	250,000
-----------	---------	----------	---------

- ③決算日:間接法で記帳

(借) 減価償却費	250,000	(貸) リース資産減価償却累計額	250,000
-----------	---------	------------------	---------

金額 リース資産の金額¥1,250,000÷5年=¥250,000

問題文中に支払日および決算日の処理と書かれているため、②と③の仕訳を行うことになる。

6. 決算日にあたり、納付すべき消費税額を確定した場合には、仮払いした消費税(仮払消費税勘定)と仮受けした消費税(仮受消費税勘定)を相殺し、差額を未払消費税勘定または未収還付消費税勘定で処理をする。

仮受消費税額¥800,000-仮払消費税額¥500,000=¥300,000←未払消費税額となる

(借) 仮受消費税	800,000	(貸) 仮払消費税	500,000
		未払消費税	300,000

7. 当期決算において、当期純利益を算定した場合には、損益勘定の借方から繰越利益剰余金勘定の貸方へ振替えの処理をする。

第2問

[期首貸借対照表]

商品（繰越商品）の金額	借方合計 ¥1,509,000 - 現金 ¥298,000 - 売掛金 ¥375,000 - 建物 ¥520,000 = 商品（繰越商品）の金額 ¥316,000
繰越利益剰余金の金額	繰越利益剰余金勘定の貸方の前期繰越の金額である。 ¥200,000
資本金の金額	貸方合計 ¥1,509,000 - 買掛金 ¥409,000 - 借入金 ¥280,000 - 利益準備金 ¥20,000 - 繰越利益剰余金 ¥200,000 = 期首資本金の金額 ¥600,000

[期末貸借対照表]

負債・純資産合計	買掛金 ¥330,000 + 借入金 ¥350,000 + 資本金 ¥800,000 + 利益準備金 ¥30,000 + 繰越利益剰余金 ¥657,000 = 負債・純資産合計 ¥2,167,000
商品（繰越商品）の金額	仕入勘定の貸方の繰越商品の金額である。 ¥352,000
現金の金額	負債・純資産合計 ¥2,167,000 は、資産合計と一致する。 資産合計 ¥2,167,000 - 売掛金 ¥517,000 - 商品（繰越商品） ¥352,000 - 建物 ¥800,000 = 現金の金額 ¥498,000

[売上勘定]

損益勘定への振替え金額	貸方合計 ¥7,462,000 - 売上戻り ¥555,000 = 損益勘定への振替え金額 ¥6,907,000（純売上高を意味している）
-------------	--

[仕入勘定]

借方の繰越商品の金額は、期首商品棚卸高をあらわしている。

よって、期首貸借対照表の商品（繰越商品）の金額である。 ¥316,000

損益勘定への振替え金額	期中総額 ¥5,365,000 + 繰越商品 ¥316,000 = 借方合計 ¥5,681,000 借方合計 ¥5,681,000 - 仕入戻し ¥427,000 - 繰越商品 ¥352,000 = 損益勘定への振替え金額 ¥4,902,000（売上原価を意味している）
-------------	---

[損益勘定]

貸方合計 売上勘定からの振替え ¥6,907,000 + その他収益 ¥1,536,000 = ¥8,443,000

借方金額 仕入勘定からの振替え ¥4,902,000 + その他費用 ¥2,974,000 = ¥7,876,000

差額 貸方合計 ¥8,443,000 - 借方金額 ¥7,876,000 = **当期純利益 ¥567,000**

この金額が繰越利益剰余金への振替え金額となる。

[繰越利益剰余金勘定]

借方の次期繰越の金額 期末貸借対照表の繰越利益剰余金の金額である。 ¥657,000

未払配当金の金額 前期繰越 ¥200,000 + 損益 ¥567,000 = 貸方合計 ¥767,000

貸方合計 ¥767,000 - 利益準備金 ¥10,000 - 次期繰越 ¥657,000
= **未払配当金の金額 ¥100,000**

第3問

1月1日 前月繰越高 240個 @ ¥2,480 ¥595,200

1月5日 掛け仕入

(借) 仕 入	1,056,000	(貸) 買掛金(千葉)	1,056,000
---------	-----------	-------------	-----------

1月6日 掛け返品

(借) 買掛金(千葉)	105,600	(貸) 仕 入	105,600
-------------	---------	---------	---------

1月10日 掛け売上

(借) 売掛金(和歌山)	2,250,000	(貸) 売 上	2,250,000
--------------	-----------	---------	-----------

1月12日 小切手による仕入

(借) 仕 入	672,000	(貸) 当 座 預 金	672,000
---------	---------	-------------	---------

1月19日 掛け売上

(借) 売掛金(奈良)	840,000	(貸) 売 上	840,000
-------------	---------	---------	---------

1月23日 掛け返品

(借) 売 上	126,000	(貸) 売掛金(奈良)	126,000
---------	---------	-------------	---------

J商品の移動平均法による商品有高帳の記入について

1月5日 掛け仕入	数量 400個 @ ¥2,640 金額 ¥1,056,000
仕入後の残高	数量 240個 + 400個 = 640個 金額 ¥595,200 + ¥1,056,000 = ¥1,651,200 単価 ¥1,651,200 ÷ 640個 = ¥2,580
1月6日 掛け返品(戻し)	数量 40個 @ ¥2,640 金額 ¥105,600
返品後の残高	数量 640個 - 40個 = 600個 金額 ¥1,651,200 - ¥105,600 = ¥1,545,600 単価 ¥1,545,600 ÷ 600個 = ¥2,576
1月10日 払出(売上)	数量 500個 @ ¥2,576 金額 ¥1,288,000
払出後の残高	数量 600個 - 500個 = 100個 金額 ¥1,545,600 - ¥1,288,000 = ¥257,600 単価 ¥2,576
1月12日 小切手仕入	数量 300個 @ ¥2,240 金額 ¥672,000
仕入後の残高	数量 100個 + 300個 = 400個 金額 ¥257,600 + ¥672,000 = ¥929,600 単価 ¥929,600 ÷ 400個 = ¥2,324
1月19日 払出(売上)	数量 200個 @ ¥2,324 金額 ¥464,800
払出後の残高	数量 400個 - 200個 = 200個 金額 ¥929,600 - ¥464,800 = ¥464,800 単価 ¥2,324
1月23日 掛け返品(戻り)	数量 30個 @ ¥2,324 金額 ¥69,720
返品後の残高	数量 200個 + 30個 = 230個 金額 ¥464,800 + ¥69,720 = ¥534,520 単価 ¥2,324

1月のJ商品の純売上高

$$¥2,250,000(1/10) + ¥840,000(1/19) - ¥126,000(1/23) = \underline{¥2,964,000}$$

1月のJ商品の売上原価 商品有高帳より

$$¥1,288,000(1/10) + ¥464,800(1/19) - ¥69,720(1/23) = \underline{¥1,683,080}$$

1月のJ商品の売上総利益(粗利益) 純売上高 - 売上原価 で求める。

$$¥2,964,000 - ¥1,683,080 = \underline{¥1,280,920}$$

第4問

1. ウ

借方科目	金額	貸方科目	金額
広告費	20,000	本店	20,000

借方科目の広告費勘定は、広告宣の支払いを意味している。

貸方科目の本店勘定は、本店が現金を支払ったことを意味している。

よって、支店の仕訳となり、ウの取引と判断できる。

本店の仕訳は以下のようになる。

借方科目	金額	貸方科目	金額
支店	20,000	現金	20,000

2. エ

借方科目	金額	貸方科目	金額
建物	5,000,000	建設仮勘定	5,000,000

借方科目の建物勘定は、建物が完成し、引き渡しを受けたことを意味している。

貸方科目の建設仮勘定は、以前建物建設に伴う代金を支払っていることを意味している。

よって、エの取引と判断できる。

3. ア

借方科目	金額	貸方科目	金額
棚卸減耗費	20,000	繰越商品	20,000

借方科目の棚卸減耗費勘定は、期末帳簿棚卸数量より期末実地棚卸数量が少ない場合に発生したことを意味している。

貸方科目の繰越商品勘定は、期末商品棚卸高から棚卸減耗費を控除したことを意味している。

よって、アの取引と判断できる。

※棚卸減耗費の金額

$$(\text{期末帳簿棚卸数量 } 1,000 \text{ 個} - \text{期末実地棚卸数量 } 900 \text{ 個}) \times \text{原価 } \yen 200 = \yen 20,000$$

第5問

付記事項

仮受金の処理

(借) 仮受金	50,000	(貸) 売掛金	50,000
---------	--------	---------	--------

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高 ¥414,000

実際有高 ¥398,000

差額 ¥414,000 - ¥398,000 = ¥16,000

実際有高に合わせるため、現金の帳簿残高を減少させる。

不一致の原因は、水道光熱費の誤記入のため水道光熱費勘定を修正する。

¥76,000 - ¥64,000 = ¥12,000 水道光熱費勘定を増加させる。

残額は原因が判明しなかったため、雑益勘定または雑損勘定を用いて処理をする。

(借) 水道光熱費	12,000	(貸) 現金	16,000
雑損	4,000		

2. 売上原価の算定

(借)	仕 入	680,000	(貸)	繰 越 商 品	680,000
	繰 越 商 品	720,000		仕 入	720,000

3. 貸倒引当金の見積もり

電子記録債権の期末残高 ¥430,000

売掛金の期末残高 ¥570,000 - ¥50,000 (付記事項) = ¥520,000

貸倒引当金の見積もりの金額

(¥430,000 + ¥520,000) × 2% = ¥19,000

貸倒引当金繰入額

¥19,000 - ¥6,000 = ¥13,000

(借)	貸倒引当金繰入	13,000	(貸)	貸 倒 引 当 金	13,000
-----	---------	--------	-----	-----------	--------

4. 備品の減価償却費の計上

¥1,400,000 ÷ 7年 = ¥200,000

(借)	減 価 償 却 費	200,000	(貸)	備品減価償却累計額	200,000
-----	-----------	---------	-----	-----------	---------

5. 売買目的有価証券の評価替え

帳簿価額 ¥580,000

評 価 額 ¥560,000

差 額 ¥580,000 - ¥560,000 = ¥20,000 (有価証券運用損となる)

評価額に合わせるため、売買目的有価証券勘定を減少させる。

(借)	有価証券運用損益	20,000	(貸)	売買目的有価証券	20,000
-----	----------	--------	-----	----------	--------

6. 消耗品の未使用高

(借)	消 耗 品	27,000	(貸)	消 耗 品 費	27,000
-----	-------	--------	-----	---------	--------

7. 手数料の未収高 (収益の見越し)

(借)	未 収 手 数 料	28,000	(貸)	受 取 手 数 料	28,000
-----	-----------	--------	-----	-----------	--------

8. 家賃の未払高 (費用の見越し)

(借)	支 払 家 賃	45,000	(貸)	未 払 家 賃	45,000
-----	---------	--------	-----	---------	--------

9. 保険料の前払高 (費用の繰り延べ)

(借)	前 払 保 険 料	40,000	(貸)	保 険 料	40,000
-----	-----------	--------	-----	-------	--------

10. 未払法人税等

当期の課税所得 ¥600,000 × 30% = ¥180,000

(借)	法 人 税 等	180,000	(貸)	仮払法人税等	70,000
				未払法人税等	110,000